

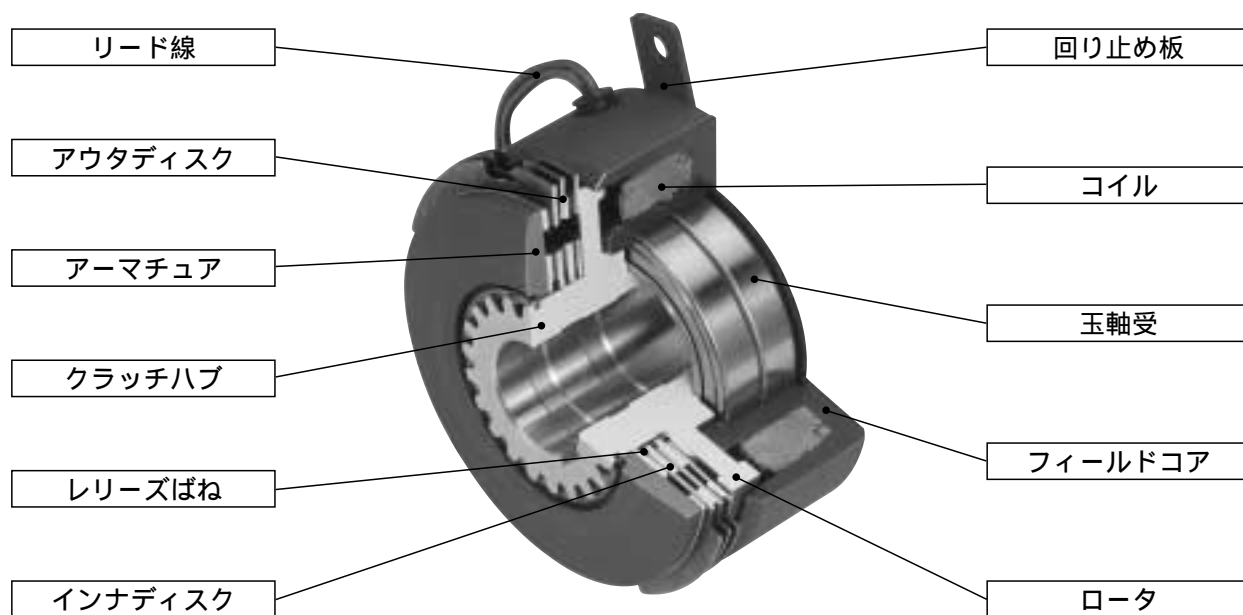
# 構造と動作

クラッチは、ロータと一体になったクラッチハブのスプラインにインナディスク、アウトディスク及びリリースばねを交互に入れ、最後にアーマチュアを組込んだもので、フィールドはクラッチハブに玉軸受で支持されています。アウトディスク外周のラグ部にカップリングをセットして動力を取り出します。

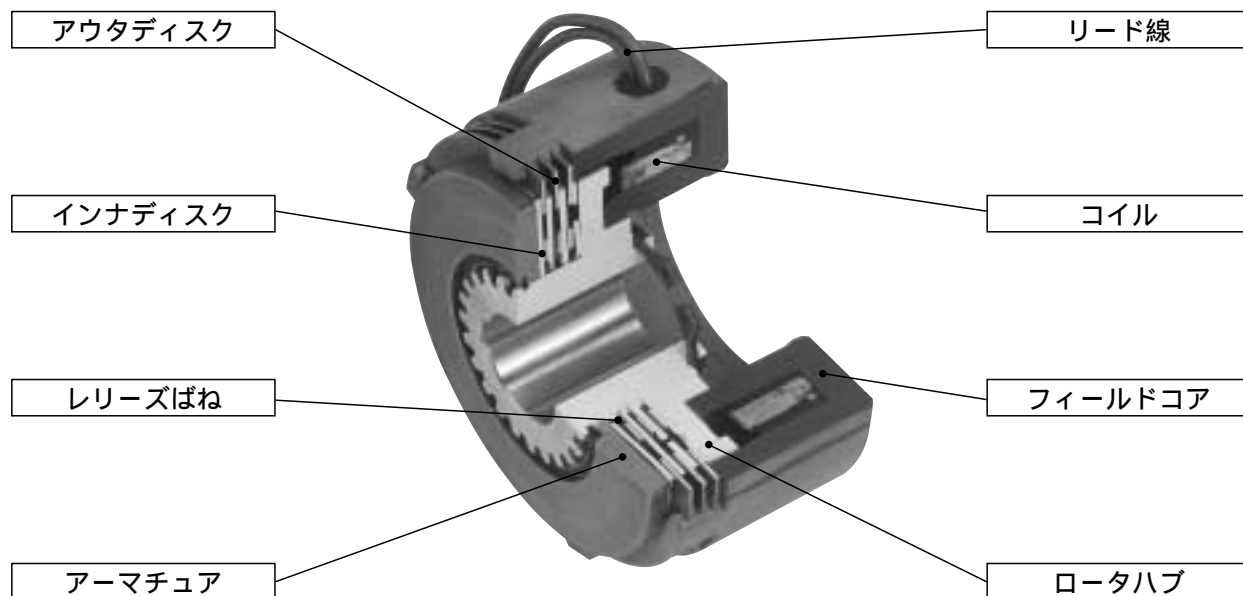
ブレーキはロータハブにアウトディスク、リリースばねとインナディスクを交互に入れ最後

にアーマチュアをセットしたもので、アウトディスクのラグ部にフィールドのカップリング部がかん合しています。

コイルに通電するとフィールド、ロータ、ディスク及びアーマチュアに磁束が流れ、アーマチュア及びディスクがロータに吸引され、クラッチは連結します。励磁を切るとリリースばねによりディスクは分離し、クラッチは解放します。ブレーキの動作も同様です。



MDC形 クラッチ



MDB-N形 ブレーキ